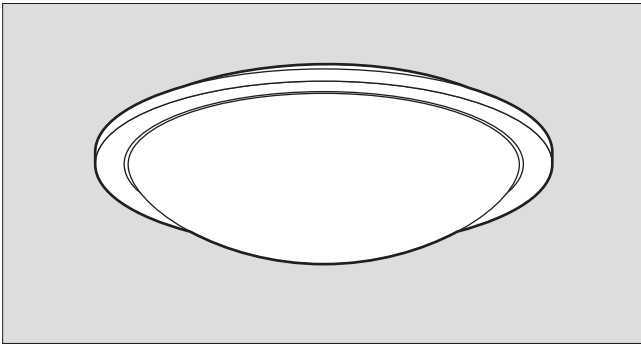


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番	HJA9008 (ライトナチュラル仕上)	HJA9008N (ライトナチュラル仕上)
	HJA9009 (ミディアムオーク調仕上)	HJA9009N (ミディアムオーク調仕上)
	HJA9010 (ダークブラウン仕上)	HJA9010N (ダークブラウン仕上)

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
あかりをつける・消す	7
リモコンの便利な使いかた	8
ご使用上に関するお知らせ	9
照明器具を取り外す	9
お手入れ・ランプ交換	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	11
保証とアフターサービス	裏表紙

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。


工事店様へ


- この説明書は必ずお客様にお渡しください。



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

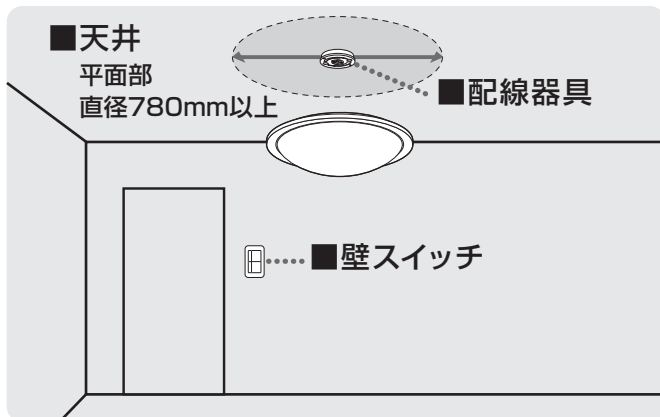
 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

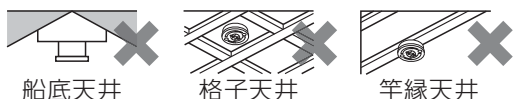
警告




■天井

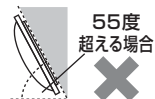
 **必ず守る** ●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



 **禁止** ※アダプタ(別売:品番HK9042K)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。

●傾斜した場所に取り付けない
火災、落下によるけがのおそれがあります。
※木ネジを使用した場合は、傾斜天井(55度以下)に取り付けできます。



◎この器具は天井面取り付け専用です。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

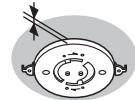
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。がたつき・破損



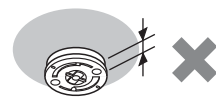
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

出しの少ないもの



ローゼット10mm未満



引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの



シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



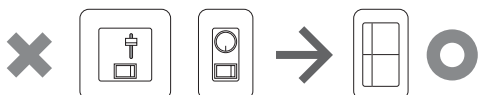
電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける

落下してけがの原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や

屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。



禁止

- ランプのガラス部分を強く握りしめたり、過度の力を加えない

ランプ破損によるけがの原因となります。

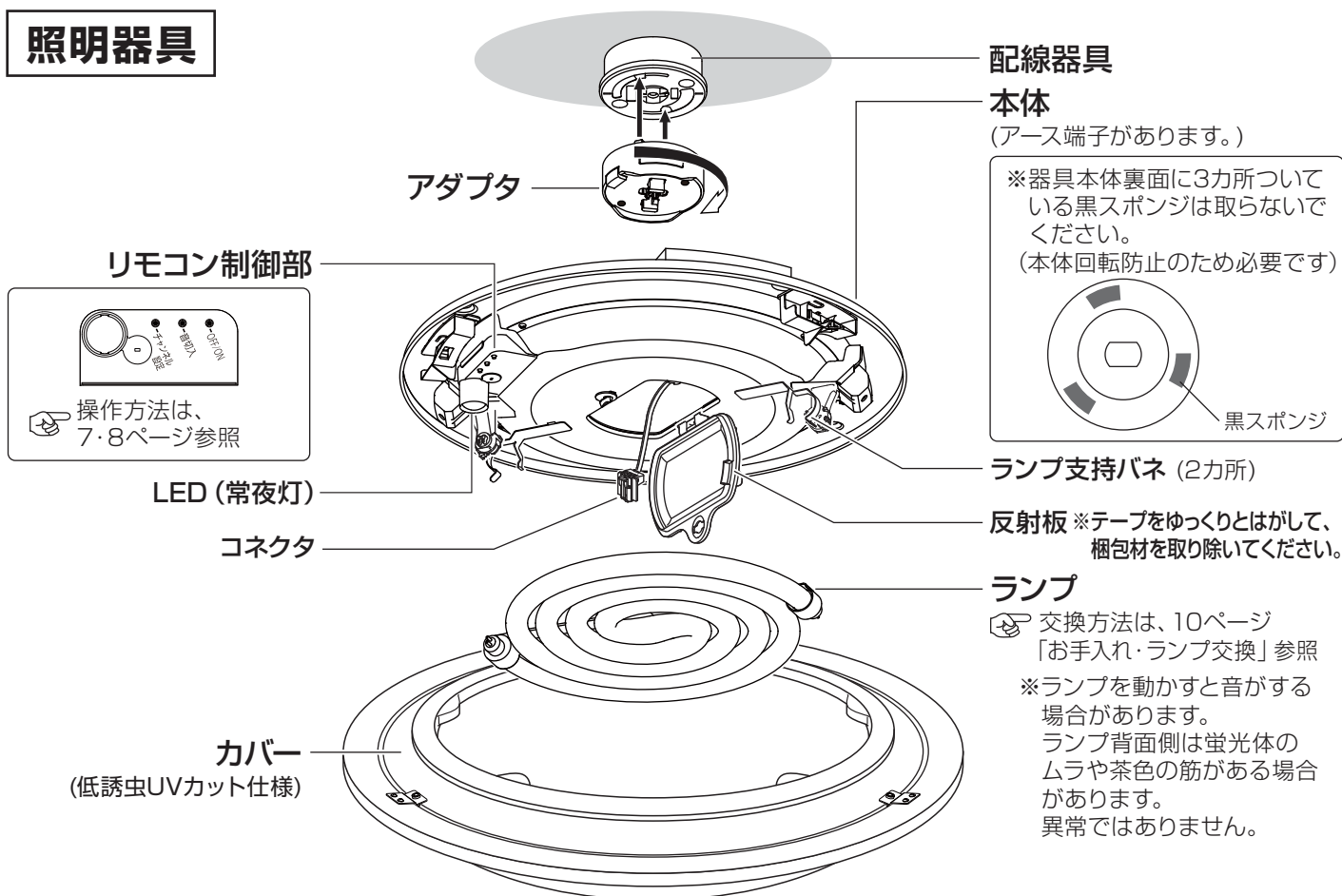
- カバーを外した状態で点灯したランプを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

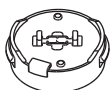
照明器具



本体取り付け用 付属部品

アダプタ (1個)

補修品番
NZ2716M



配線器具

丸型フル引掛シーリング (1個)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

引掛シーリング用

木ネジ (2本)



支持具

(2個)



●傾斜天井 (55度以下) に取り付ける場合にお使いください。

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 9ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する ※傾斜天井(55度以下)に取り付ける場合、6ページをご覧ください。

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

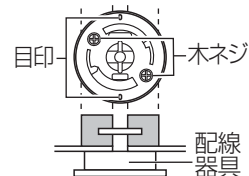
◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

警告



目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける
必ず守る 落下してけがのおそれがあります。



天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 2の作業へ進んでください。

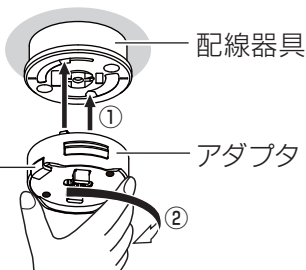


天井からの出しろが 22 mm の配線器具

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

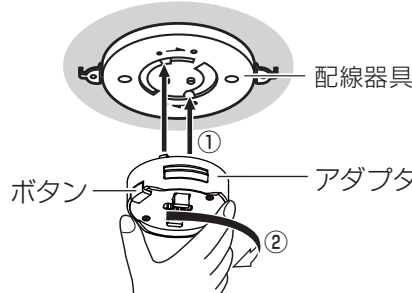
①位置を合わせる



②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認

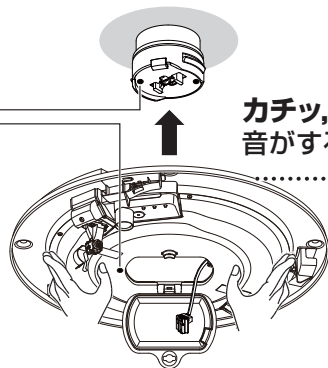
ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



3 本体を押し上げて取り付ける

※傾斜天井に取り付ける場合は、取付方向の矢印を守ってください。詳しくは6ページをご覧ください。

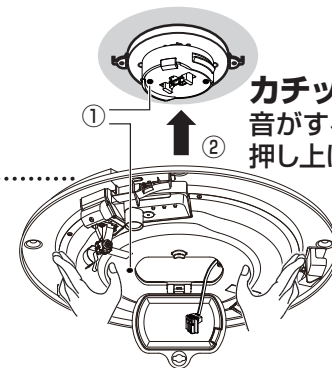
①印(黒丸)を合わせる



カチッ、カチッと2度、音がするまで押し上げる

②カチッと音がするまで本体を押し上げる

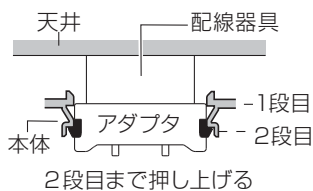
※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。



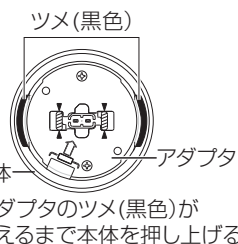
カチッと1度、音がするまで押し上げる

●アダプタの本体取り付け位置

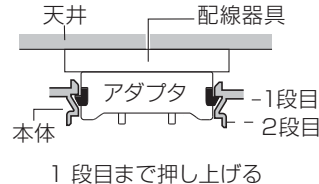
横から見た図



下から見た図

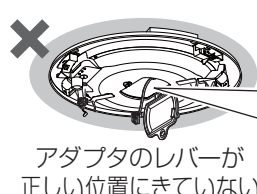
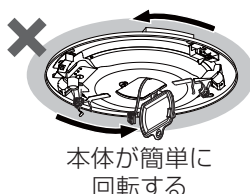
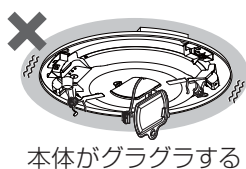


横から見た図

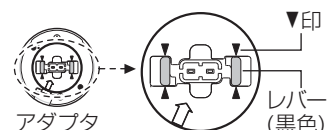


確認

本体が正しく取り付けられているか必ず確認する。



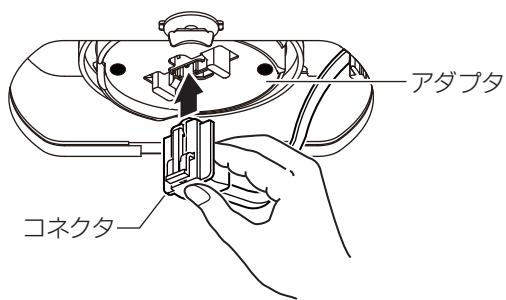
レバーと▼印が合っているとコネクタは接続できます(下図参照)



上図の場合、正しく取り付けされていないので3を再度行ってください。

4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを
確実に
差し込む



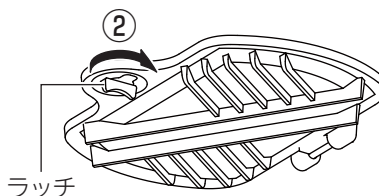
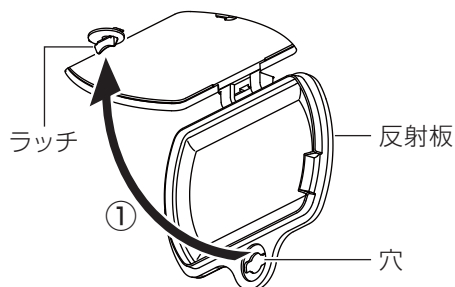
確認

- コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。

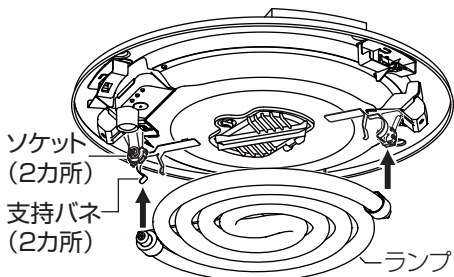
5 反射板を取り付ける

①反射板の穴を
ラッチにはめて

②ラッチを回す

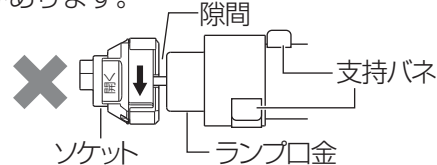
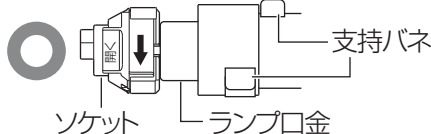


6 ランプを取り付ける

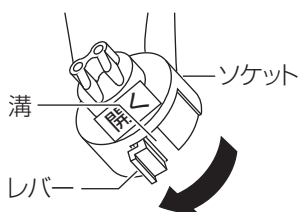


ご注意

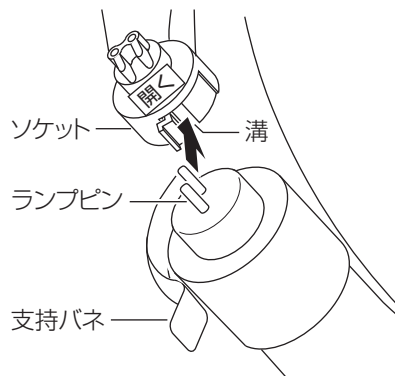
ソケットとランプ口金の間に隙間を空けないようにして取り付ける
点灯しない原因となることがあります。



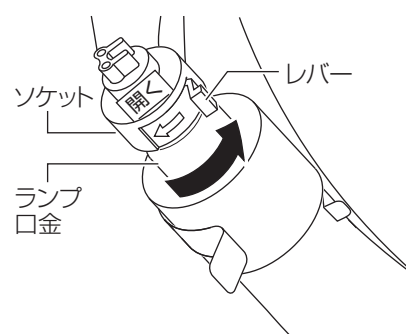
①ソケット (2カ所) のレバーを
最後まで開いて溝が見える
状態にする



②ランプピンを溝に合わせ、
ランプを支持バネに取り付ける

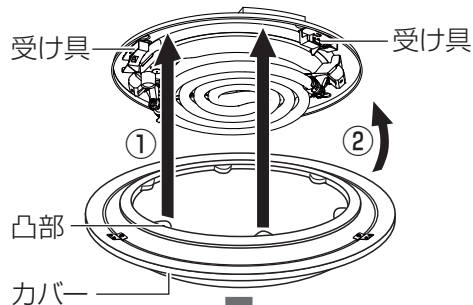


③ランプ口金とソケットを
密着させソケット (2カ所) の
レバーを閉じる



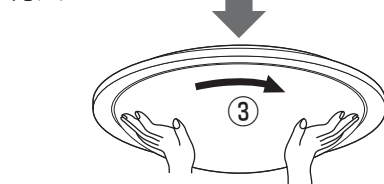
7 カバーを取り付ける

①カバーの凸部2カ所を
本体の受け具と受け具
の間に合わせる



②カバーを
持ち上げる

③カバーを
止まるまで
右に回す



注意



必ず守る

カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることが
あります。

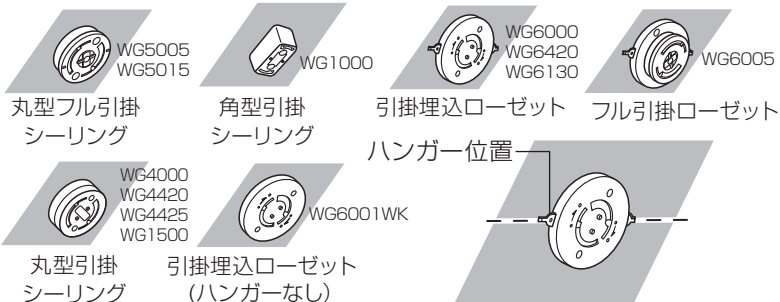
確認

バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に
回して外し、再度、**7**を行う。

傾斜天井 (55度以下) に取り付ける場合

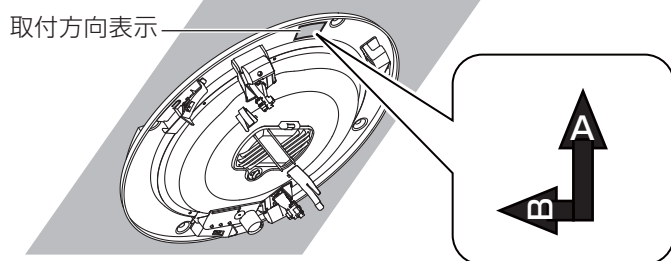
1 取り付け方向を確認する

ハンガーなし配線器具、ハンガー付き配線器具 (ハンガー位置：横)

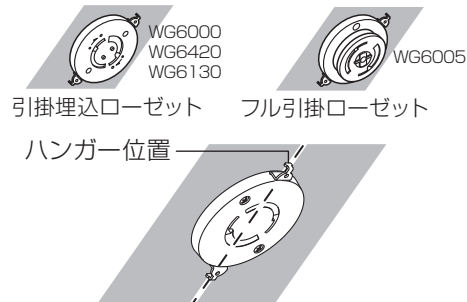


上記のような配線器具の場合

取付方向表示の矢印Aを上に向けて取り付ける

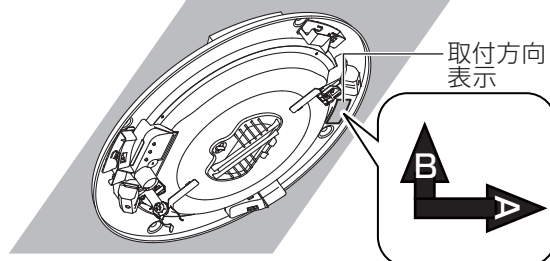


ハンガー付き配線器具 (ハンガー位置：縦)

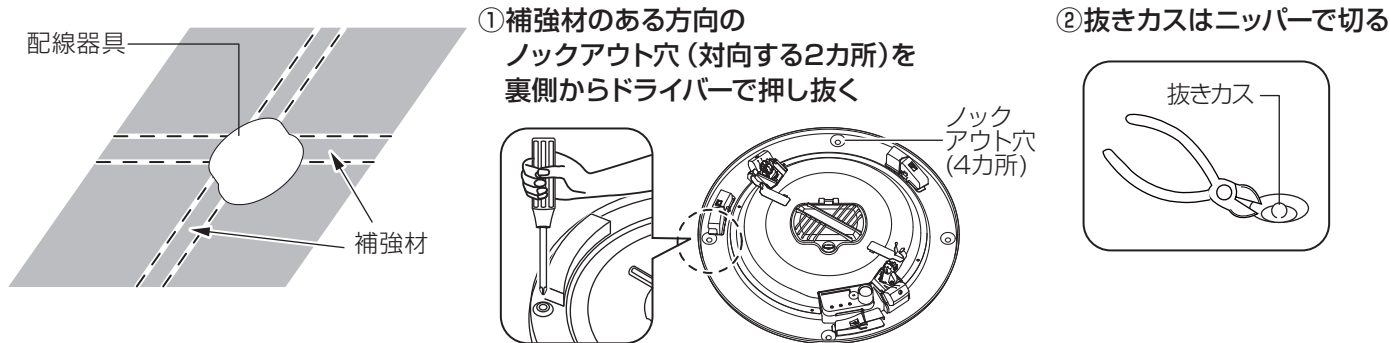


上記のような配線器具の場合

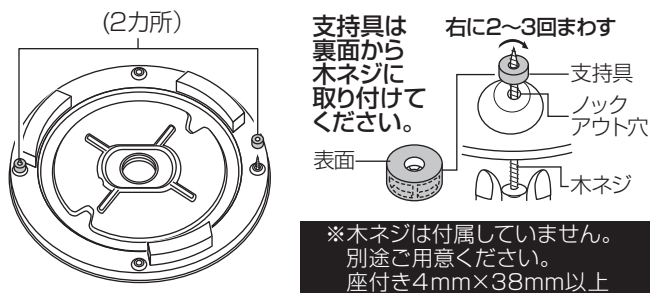
取付方向表示の矢印Bを上に向けて取り付ける



2 天井の補強材のある方向に合わせて本体のノックアウト穴 (2カ所) を開ける



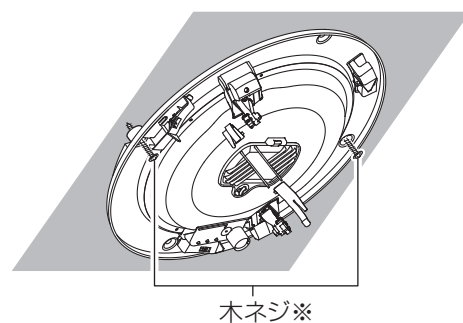
3 ノックアウト穴に支持具で木ネジ※を仮固定する



※木ネジは付属していません。別途ご用意ください。座付き4mm×38mm以上

4 本体を取り付ける

4、5ページ「照明器具を取り付ける」手順①～⑤を行なった後、
⑥を行う際は矢印を上に向けて取り付ける
上記手順①参照
木ネジ※を補強材に固定する



警告



必ず守る

必ず木ネジと支持具で器具を取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する



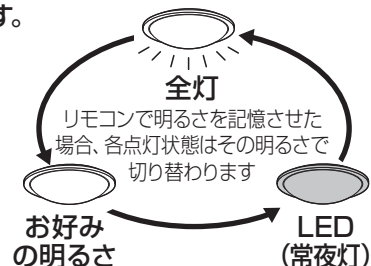
記憶している
前回の「消灯前の明るさ」で
点灯します

今回の「消灯前の明るさ」を
記憶して消灯します

●全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると
点灯状態が切り替わります。



●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコン(別売)で照明器具を操作する

壁スイッチはONの状態にしてください。

別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変えられます。
機種によりタイマーの機能があります。



HK9327K

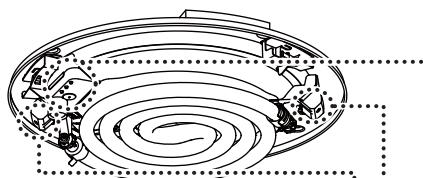
- 蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- 蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能



HK9470

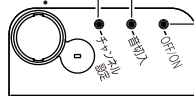
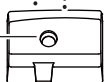
- タイマー機能
- 蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- 蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能
- LED手元灯付き

リモコン制御部(本体)



リモコン受信部(2カ所)

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。



チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入

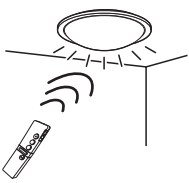
OFF/ON スイッチ

押すごとに消灯/全灯

リモコン(別売) (例)HK9327K の場合

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」
を器具に向けて操作
してください。



リモコン送信部

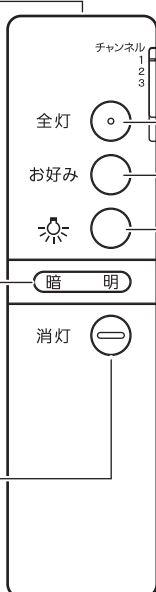
※傷つけたり、
汚したりしないで
ください。

明暗ボタン

蛍光灯(100~約15%)
LED(6段階)の明るさを
調整

☞ 8ページ
「蛍光灯、LED(常夜灯)
を調光し明るさを記憶
させる」参照

消灯ボタン



チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル(1~3)を設定
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯

☞ 8ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

お好みの明るさボタン

蛍光灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 約60%の明るさ)
※明暗ボタンで100%に変更した場合は全灯と
同じ明るさで点灯します

LED(常夜灯)ボタン

LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 100%の明るさ)

◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

リモコンの便利な使いかた

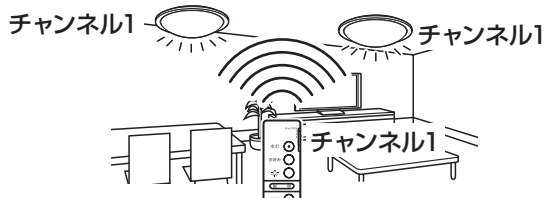
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

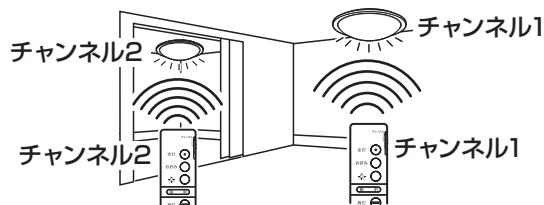
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- ① **チャンネル設定スイッチ** リモコン制御部(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す
→「ピッ」と音がする
- ② **チャンネル** リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例:チャンネル2)
- ③ **全灯** リモコンのいずれかのボタンを押す
→「ピピーツ」と音がして設定完了

蛍光灯、LED (常夜灯) を調光し明るさを記憶させる

- | | | |
|-------------------------|---|-------------------------------------|
| 蛍光灯 | | LED (常夜灯) |
| ① お好み | ➡ | ② 暗 明 |
| リモコンの「お好みの明るさボタン」を押す | | リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する→記憶 |
| ① LED (常夜灯) | ➡ | ② 暗 明 |
| リモコンの「LED (常夜灯) ボタン」を押す | | リモコンの「明暗ボタン」でLED (常夜灯) の明るさを調節する→記憶 |

- メモ** ●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●「全灯ボタン」で点灯させた後に「明暗ボタン」で明るさを調節しても記憶されません。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100~約15%の範囲で設定することができます。

- ① **全灯** リモコンの「全灯ボタン」を押す
- ② **OFF/ON スイッチ** リモコン制御部(本体)の「OFF/ONスイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける
- ③ **暗 明** リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する
- ④ **全灯** リモコンの「全灯ボタン」を押す
→「ピピーツ」と音がして変更完了

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 壁スイッチがないとリモコン送信機の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
(本体のリモコン制御部の「OFF/ONスイッチ」を押せば消灯/全灯は可能)
- 壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
- 低誘虫(虫がよってこない)機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

照明器具を取り外す

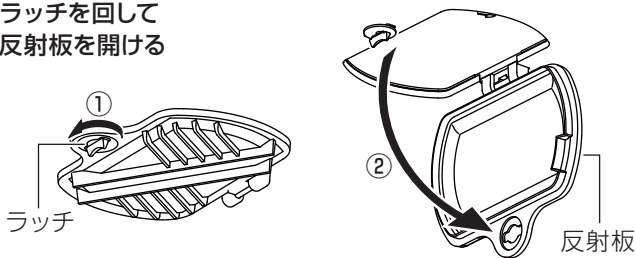
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 ランプを取り外す

👉 10ページ「お手入れ・ランプ交換」手順②参照

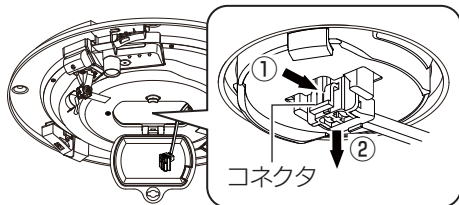
2 反射板を開ける

- ①ラッチを回して
- ②反射板を開ける



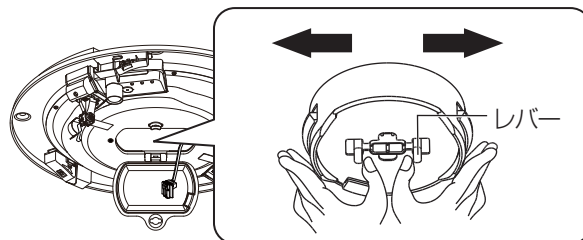
3 コネクタを外す

- ①つまみながら
- ②引いて、外す



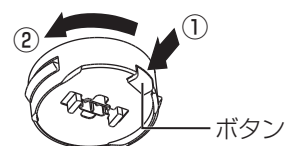
4 本体を外す

本体を支えながらレバーを矢印の方向(左右)に広げる



5 アダプタを外す

- ①ボタンを押しながら
- ②左に回す



お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

- ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅をくり返すとランプの寿命です。ランプを交換してください。

- パナソニック製スパイラルパルック蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

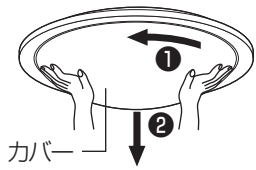
ランプの種類が表示されています



ランプの交換方法

1 カバーを取り外す

- ①カバーを止まるまで左に回す
- ②カバーを外す



3 新しいランプを取り付ける

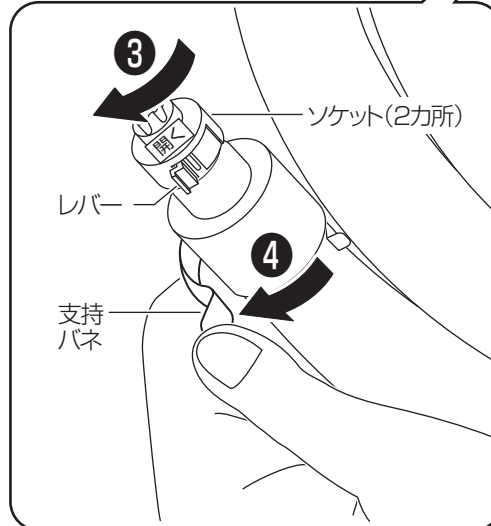
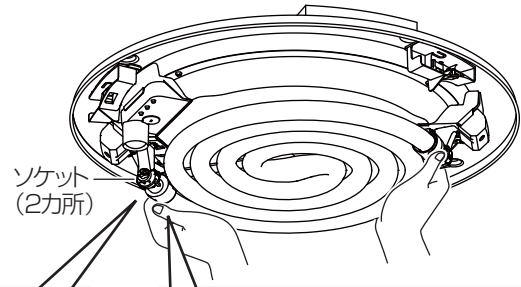
- ☞ 5ページ「照明器具を取り付ける」手順 6 参照

4 カバーを取り付ける

- ☞ 5ページ「照明器具を取り付ける」手順 7 参照

2 古いランプを取り外す

- ③ソケット(2カ所)のレバーを最後まで開く
- ④ランプを支え、支持バネを開きながら
- ⑤両方同時にソケットからランプピンを外す




故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	5ページ 6
	ソケットレバーが開いている	ソケットレバーを閉じる	10ページ「お手入れ・ランプ交換」
	ランプが切れている	ランプを交換する	10ページ 2
	コネクタが確実に差し込まれていない	①ランプを取り外し、…………… ②反射板を開け、コネクタを一度抜き、… ③本体を押し上げてから…………… ④コネクタを再度、差し込む……………	10ページ 2 9ページ 2、3 4ページ 3 5ページ 4
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早くOFF→ONにする	7ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで 操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	お使いのリモコンの取扱説明書
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	8ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	

上記の処置を行っても 現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する  8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100 V	50/60 Hz共用	75 W (リモコンOFF時1W以下 LED(常夜灯)のみ約1W)	93形スパイラルパルック蛍光灯

●ランプの光色はランプをご参照ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用照明器具
●品番 <input type="checkbox"/> HAJ9008 / HJA9008N <input type="checkbox"/> HAJ9009 / HJA9009N <input type="checkbox"/> HAJ9010 / HJA9010N
<input checked="" type="checkbox"/> 保証書またはカバーのラベルをご参照いただき、品番にチェックをしてください。
●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。
またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年
*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。